

「新学術創成研究機構 異分野融合セミナー（ハブ事業共催）」を開催

2025年1月31日

1月31日（金）、金沢大学がん進展制御研究所4F会議室において、国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 山本拓也先生による異分野融合セミナー（学際ハブ事業共催）を開催しました。

山本先生がセンター長を務める難病・免疫ゲノム研究センターの研究基盤や取り組みが紹介され、RNA ワクチン開発経験と免疫老化に基づくがん・難病に対する免疫療法・ワクチン開発の展望が示されました。質疑応答では、RNA ワクチンの応用や免疫老化標的治療への関心が高く、参加者との活発な議論が行われました。セミナーを通じて、最新の研究動向や技術に関する理解が深まり、研究の発展と社会実装への期待が高まる有意義な機会となりました。

セミナーには、研究所内外の教職員、大学院生等40名が参加し、活発な質疑応答や意見交換が行われました。



新学術創成研究機構 異分野融合セミナー

老化研究とワクチン開発 研究の融合を目指して

～感染症研究からがん・難病研究への応用～



国立研究開発法人
医薬基盤・健康・栄養研究所
National Institutes of
Biomedical Innovation, Health and Nutrition



CiDIG

難病・免疫ゲノム研究センター
Center for Intractable Diseases and
Immunogenomics



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

山本 拓也先生

国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所
難病・免疫ゲノム研究センター センター長
プレジジョン免疫プロジェクト プロジェクトリーダー(併)

日時

1月31日(金) 16:00-17:00

場所

がん進展制御研究所4F セミナー室

医薬基盤・健康・栄養研究所 難病・免疫ゲノム研究センターは、難病やがん、感染症等の診断・予防・治療法の開発と社会実装を目指し、臨床情報の収集とゲノム情報、免疫情報といったビックデータを融合して研究開発を進めるため、2023年4月に発足しました。今回のセミナーでは、当センターでの取り組みや解析技術基盤を紹介するとともに、山本先生が携わってきた感染症に対するRNAワクチン開発の経験と、今後より一層重要となると考えられる免疫老化現象を踏まえた癌・難病に対する免疫療法・ワクチン開発研究に関する展望をご紹介して頂く予定です。どうぞ皆さま、奮ってご参加ください。

※ 学際領域展開ハブプロジェクト「健康寿命科学」との共催セミナーとなります。

お問い合わせ

金沢大学がん進展制御研究所 がん・老化生物学研究分野
金沢大学新学術創成研究機構 老化統合システム研究ユニット

城村由和(内6735)